

校内研修の充実を目指して

令和4年5月30日（月）に「聖籠町研究主任研修会」が行われました。

研修会では、下越教育事務所学校支援第2課 指導主事 磯部 睦 様にご講演いただきました。内容は「新潟県のWeb配信集計システムの校内研修への生かし方や具体例、研究主任として校内研修をどのように推進すればよいか」についてです。

今年度から大きな変更があるWeb配信集計システム（通称Webテスト）。対象は小学校4～6年生と中学生です。その取組方法が見直され、実施時間が40分から20分に短くなり、実施回数が3回から5回に増えることになりました。それによって、1時間の授業の前半で診断問題を実施し、授業の後半は難しかった問題や、気になった問題をピックアップして子どもたちで再度話し合います。友達と協力してベストアンサーを作る活動や分かりやすい説明を作る活動を行うことで、その場で理解を深めます。最後に、子どもたちが自己採点したものを教師が回収、点検し、子どもたちの状況を把握することで、その後の授業に生かしていきます。

これまでの取組方法と大きく変わりますが、新潟県教育委員会作成の動画と磯部指導主事の説明で、どのように活用し、どのように授業改善を行っていけばよいかを各学校の研究主任の先生方は詳しく学ぶことができました。

今回の研修会に参加された研究主任の先生方は、各学校の授業改善をどのように進めていくべきか、情報交換も行いました。

夏休み前に、Web診断問題の1回目が行われます。（小学校が上記の内容で行うのは2回目からです。）子どもたちの理解を深めながら、先生方の授業改善を進めていく取組が始まります。



<先生方の感想より>

- ・今日の講義によって、テストはわからないところを分析するものだという認識のもと、WEBを職員一丸で取り組みたいと決意しています。
- ・Web配信を活用して授業改善を図ることの具体について考えることができた。特に、今回のWebの改革によって、「主体的・対話的で深い学び」を体験させる機会になると感じた。